

みなみあいづ

 議会だより

第52号

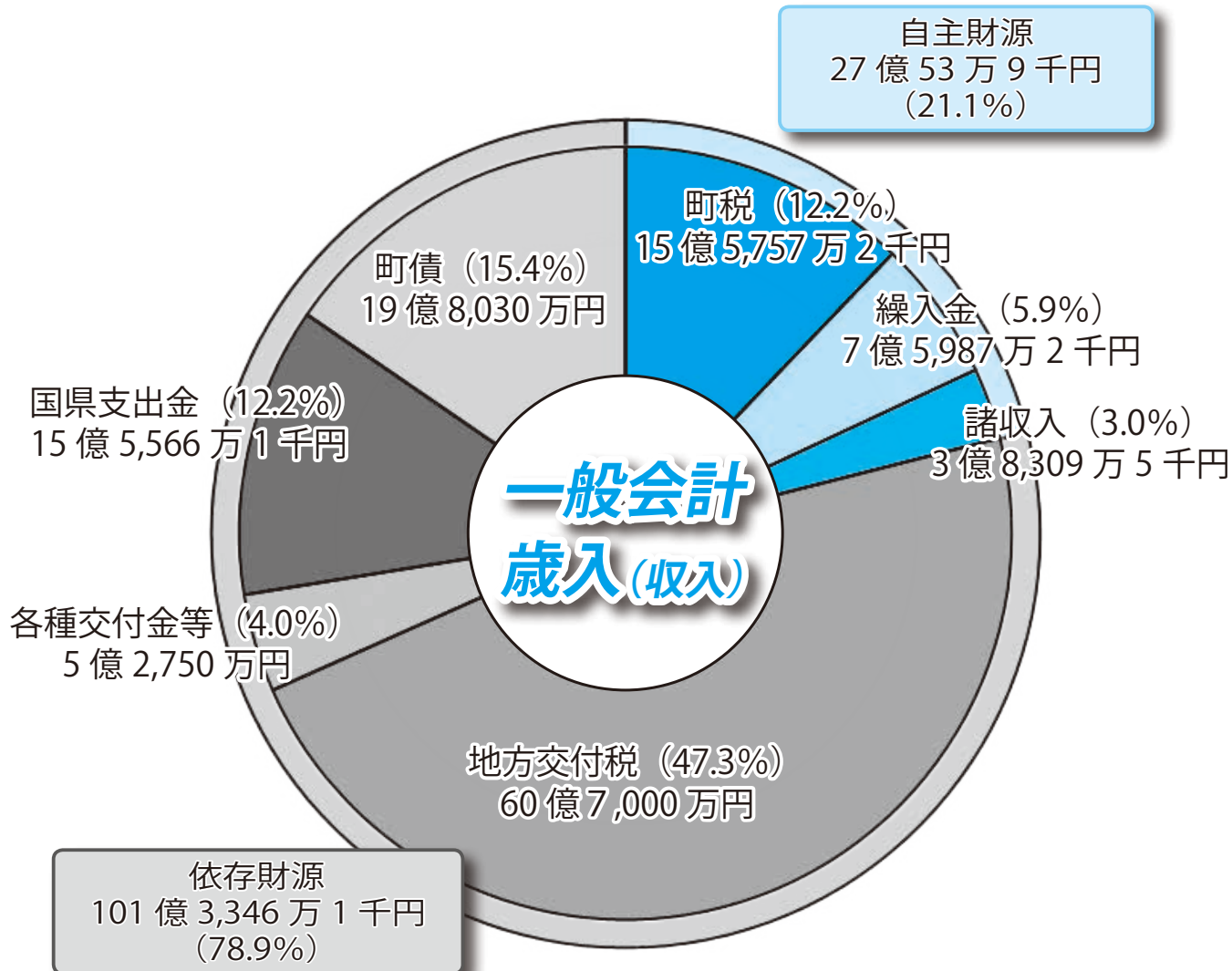
平成31年4月24日

- 3月定例会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
平成31年度当初予算概要・議案審議など
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
9人の議員が町政を問う
- 要望活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 189
- 議会報告会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 199
- 町民の声・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 209

これからいっぱい遊ぼうね
びわのかげ保育所 入所式

651万7千円

一般会計
128億3,400万円



【当初予算のポイント】

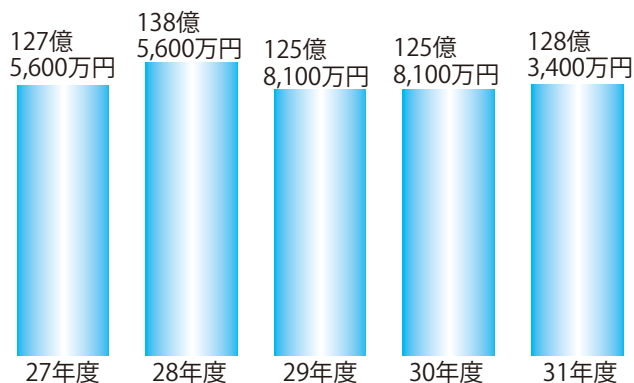
平成31年度の一般会計当初予算は、歳入歳出の額がそれぞれ128億3,400万円となりました。

前年度と比較すると、2億5,300万円の増加となりました。

【平成31年度重点施策】

- ①働く環境の充実と町民所得の向上
- ②福祉と子育て環境の充実
- ③地域力の向上
- ④未来を拓く行政経営

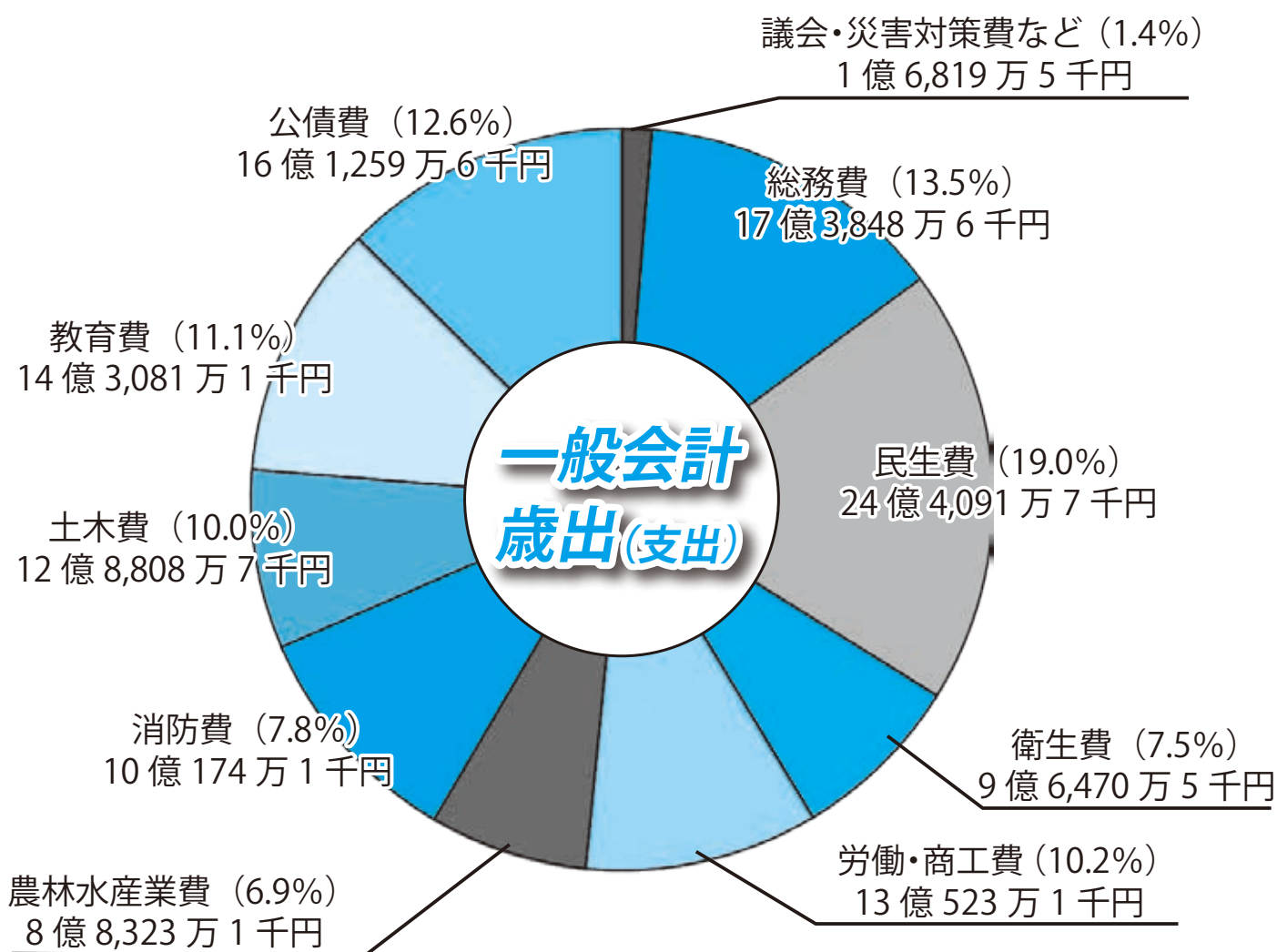
一般会計当初予算の推移



平成31年度 当初予算 総額185億7,

平成31年第1回定例会が、3月8日から15日までの8日間の会期で開催され、町からは、条例制定・改正9件、平成30年度補正予算4件、平成31年度当初予算7件、報告1件、諮問1件、その他の議案28件が提出されました。

また、議会からは委員会提出議案2件が提出され、慎重な審議が行われました。



【平成31年度 各種会計当初予算】

会計区分	一般会計	特別会計	一般会計					公共下水道	企業会計
			国民健康保険	後期高齢者療	介護保険	農林業集落排水	水道事業		
予算額	128億 3,400万円	46億 5,250万円	17億 3,700万円	2億 2,060万円	21億 9,580万円	1億 4,310万円	3億 5,600万円	10億 9,001万7千円	
前年度比	2億 5,300万円	-3億 3,800万円	-7,600万円	-910万円	-3,200万円	-350万円	-2,700万円	2,011万円	

未来を見据えた地域活力の向上と 持続可能なまちづくりを目指して

【一般会計】

(単位：千円)

事業名	予算額 (国県支出金)	事業目的・内容
低所得者・子育て世帯応援事業	9,932 (9,932)	消費税率の引上げが低所得者・子育て世帯(0～2歳児)の日常生活にもたらす影響緩和を目的としたプレミアム付商品券の販売
暁の星幼稚園施設型給付交付金	29,918 (20,838)	子ども・子育て支援新制度により施設型給付を行う私立幼稚園に対する運営費用補助を実施
福島大学食農学類連携事業	1,008 (-)	平成31年度から新設される福島大学食農学類と連携し、本町農林業全般に関する調査等を依頼し、実践型教育プログラムを推進
県単調査設計業務	29,100 (17,400)	ほ場整備事業が行われる荒海地区と鶴巣地区の測量および調査を実施
農地耕作条件改善事業	51,200 (28,050)	塩江地区から金井沢地区まで延長4,300mの農道整備を実施
ヒツジの森里山景観整備事業	2,615 (716)	ヒツジを活用した景観整備(除草)と獣害対策(緩衝帯整備)を目的として、飼育環境を整備し、その効果を検証
町産材消費拡大支援事業	12,000 (-)	素材生産量拡大と地元加工による6次化・付加価値化、地産外商による販売拡大を目的として、伐出された丸太運搬経費を支援
農山漁村地域整備交付金事業	50,230 (35,000)	林道矢竹阿多根線の落石崩落個所の安全確保のため、法面落石防護工事を実施
町営住宅松下団地建替事業基本計画策定事業	8,200 (-)	老朽化した松下団地を地域ニーズに応じた団地にするため、基本計画の策定に着手
輝く子どもを育てる事業	847 (-)	地域の教育力を高める環境づくりを進めるために、清水寺貫主の森清範氏と次代を担う町内中学生によるシンポジウム等を実施

【水道事業会計】

(単位：千円)

事業名	予算額	事業目的・内容
田島第2地区配水施設再構築事業	3,630	人口減少や給水量減少などの課題解決を図るため、田島浄水場の今後のあり方を検討するため再構築基本計画の作成を実施(高野地内)
荒海地区配水施設再構築事業	11,100	維持管理の向上と給水区域の拡大を図るため、点在する配水施設の再編を実施
針生・静川地区水道施設統合事業	5,940	静川地区水道の老朽化や渇水対策などの課題解決を図るため、自然流下を活用した針生地区水道との連絡管を整備
国道289号永田橋関連配水管移設事業	37,400	国道289号永田橋橋梁工事において支障となる橋梁添架管の補償工事の実施に合わせて行う更新工事(永田地内)

歳入全般

財産収入（立木売却収入）

問

750万円が計上されていますが、どこを予定しているか。

答

古町地区のスギ林と藤生地区のスギ林と雑木を予定しています。

総務費

南会津ワカモノ会議事業補助金

問

東京都内で若者を集めたまちづくりの会議や、地元高校生との意見交換を行うなど、活動が活発化してきていますが、将来ワカモノ会議で提案されたことを実行に移す計画はあるのか。

ると考えます。

地元の若者が交流や意見交換を通して、さまざまなアイデアを吸い上げ、町へ提案してほしいと思います。

平成31年度は、まず具体的な提案をしていただき、その提案に対し計画を検討していきます。

答

これまででは、成果をあまり求めず、若者の交流を広げ、ネットワークをつくることを中心に行ってきたことが、今後は目に見える成果が必要になってく



「ワカモノ会議 in TOKYO」のようす
(平成31年3月2日 東京都内)

総務費

定住促進すまいる補助金

問

補助の内容は。

補助を行うものです。

空き家バンクに登録された建物を取得した場合の改修や、U・Iターン者への住宅の建て替えの助成も行っていきます。

答

南会津町へ定住を目的に新築や中古住宅を購入する際に、一定の

民生費

シルバー人材センター補助金

問

シルバー人材センターに登録されている人数は。

問

高齢化が進む中、人材確保が難しくなっていることから、支援を強化する考えは。

答

平成31年2月末現在で、109人です。

うち、田島地域84人、館岩地域4人、伊南地域3人、南郷地域18人です。

答

現役を引退されても、まだまだ元気のある方が社会貢献できる場として非常に有効な機関と考えます。個人業者のバランスを見ながら、町として必要な支援を行っていきます。

問

事業の内容は。

農林水産業費

町産材消費拡大支援事業

答

町内の山で、「伐採届」により伐出された丸太を運搬する際の経

費の助成を行うもので、町内の製材所や加工所、ストックヤードなど、付加価値のつく場所に運搬することが条件です。

農林水産業費

ヒツジの森里山景観整備工事請負費

問

事業の内容は。

答

ヒツジの特徴として、草の根まで食べるので、除草に適していることや、ヒツジ特有のにおいを、イノシシが苦手としていることなど、景観整備と獣害対策の両方に効果があるとされていることから、試験的にヒツジを飼育し、効果を検証していきます。

答

ヒツジを活用した景観整備（除草）と獣害対策を目的として会津山村道場内に飼育環境を整え、これらの効果を検証するものです。

問

なぜヒツジなのか。

ヒツジの特徴として、草の根まで食べるので、除草に適していることや、ヒツジ特有のにおいを、イノシシが苦手としていることなど、景観整備と獣害対策の両方に効果があるとされていることから、試験的にヒツジを飼育し、効果を検証していきます。

農林水産業費

鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業

問

事業の内容は。

答

鳥獣などの被害で緊急性があった場合に、許可を出して捕獲する事業です。主に、サル・シカ・イノシシを対象としています。

農林水産業費

ヤマザクラ植栽地維持管理業務委託料

問

委託の内容は。

問

補助件数の見込みと金額は。

答

補助件数は10件を見込んでいます。そのうち、課税世帯は限度額50万円です。非課税世帯は限度額80万円です。

答

今年で3年目となるヤマザクラ1万本の里づくり事業で、地域の方に植林していただいたヤマザクラの管理をしたヤマザクラの管理を本格的に行っていくものです。植栽後の管理のほか、苗の育成も行います。

消防費

消防ポンプ自動車購入費

問

購入するポンプ車は重量3.5tを超える車両を購入予定とのことだが、平成29年3月の道路交通法の改正後に普通免許のみを取得したもの、3.5tを超える車両を運転することができないが、町の考えは。

答

今後の課題として認識しています。免許取得の支援体制がとれるよう、消防団と協議します。

土木費

空き家等除却事業補助金

3月定例会の議案審議では165件の質疑がありました。

紙面の都合上、議会だよりでは一部のみ掲載しております。

本会議のようすは、インターネット（You Tube）で見ることができます。

【<http://www.minamiaizu.org/gikai/>】

南会津町議会中継

検索



議案第4号

町立保育所条例の改正

館岩幼稚園に小規模保育所

問

幼稚園と保育所は所管が違うが、問題はなののか。

答

子ども子育て支援法に基づき、館岩幼稚園内に小規模保育所として設置するもので、今後は1歳児からの保育受入れが可能になります。



新たに小規模保育所が設置される館岩幼稚園

総務委員会提出議案

国へ意見書を提出

採択 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を
求める意見書

福島県の最低賃金は時間額で「772円」ですが、これは政府が目指すとしている全国加重平均1000円には程遠い金額であり、その水準は全国31位と低位にあります。

このような全国水準との乖離は正は、県内の労働者・生活者のセーフティーネット強化や内需拡大はもとより、県内の人手不足解消、生産年齢人口流出の抑制に効果があることは明らかです。

よって、最低賃金の引き上げと、中小・地場企業に対する支援策の強化などを強く求めます。
(一部抜すい)

請願(陳情)書の提出方法

請願(陳情)の提出は、次の記入例により必要事項を記入し、事前に議会事務局へ連絡のうえ、提出してください。

【紹介議員】

◆請願は1名以上 ◆陳情は不要

【受理できない場合】

◆郵送などによる請願・陳情
◆町民以外から提出された陳情

平成 年 月 日	
南会津町議会議長	あて
	請願(陳情)者の
	住所
	氏名
	紹介議員(請願のみ)
	氏名
〇〇〇〇〇〇に関する請願(陳情)	
1. 請願(陳情)の趣旨	

文教厚生委員会提出議案

県へ意見書を提出

採択 南会津町における県立高等学校2校の存続
を求める意見書

福島県教育委員会は、平成31年2月8日に、「県立高等学校改革前期実施計画」を公表しました。

少子化、人口減少社会における計画の必要性については一定の理解を示すことはできるものの、南会津町議会及び地域住民は、この計画に大きな不安を感じています。

平成18年3月の町村合併以降も本庁と3支所体制を維持し、行政サービスの公平性を確保しています。町村合併により結果して1自治体に2校の県立高等学校が存在していますが、地理的条件は何も変わっていません。

今後も町内の最高学府として人材育成に欠くことのできない極めて重要な役割を持つ高等学校であります。

本町の県立高等学校の統廃合は少子化に拍車を掛け、さらなる過疎化に進むことは論を待たず、地方の疲弊につながることは明らかです。

福島県立田島高等学校及び福島県立南会津高等学校は、地域に愛され、「協働のまちづくり」を実践される重要な学校として、これからもこの南会津地域に欠かせない学校であることから、2校の存続を強く求めます。(一部抜すい)

一般質問

9人の議員が登壇

登壇順序・質問項目

1 森 秀一 議員・・・9分

- ①県立南会津高校の存続を
- ②福祉関係スタッフの現状は
- ③教育旅行受入れの現状は

2 室井 嘉吉 議員・・・10分

- ①地域の元気をつくるために
- ②高齢化の進行に伴う、きめ細やかな施策を

3 丸山 陽子 議員・・・11分

- ①英語力向上への支援を

4 大桃 英樹 議員・・・12分

- ①六斎市の復活で商業の活性化を
- ②健康長寿町をめざして

5 渡部 訓正 議員・・・13分

- ①県立南会津病院の充実を
- ②南会津町公共施設等の総合管理計画個別施設計画（素案）は
- ③若者の雇用確保に向けて

6 湯田 哲 議員・・・14分

- ①本年度スタートする「南会津町公共交通網形成計画」を内外へアピールし活気ある町に
- ②駒止湿原への道路開通式と秋の湿原山開きを同時に実施しては
- ③旧「峠の茶屋」跡地を駒止湿原の駐車場に整備し路上駐車対策を

7 山内 政 議員・・・15分

- ①県立高等学校改革前期計画は

8 星 光久 議員・・・16分

- ①動産・不動産の所有権移転の未解決状況は
- ②食品安全対策は
- ③鳥獣対策は
- ④県立南会津病院の充実は

9 貝田 美郎 議員・・・17分

- ①子育てスマイル支援事業
- ②保育所の遠足時の支援
- ③ヤマザクラ1万本の里づくり事業組織の見直し
- ④指定有形文化財の保護と保険の推進

平成31年3月定例会の一般質問は、12～14日の3日間にわたり行われました。一般質問は、議員が町の行政全般にわたり執行機関に問題点をただし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。



南会津高等学校の存続を

町長＝関係機関と協力し働きかける

問

南会津高等学校は田島高等学校へ統合する再編方針が示されましたが、町の考えは。

町長

南会津高等学校を田島高等学校へ統合する計画は、生徒の教育環境の悪化や地域人材の育成など地域経済にとってもマイナスです。関係機関と協力し、南会津高等学校の存続を県に働きかけていきます。

福祉スタッフに関する町の関わりは

町長＝福祉施設の情報を集め支援策を検討

問

福祉関係スタッフの充足状況は。

町長

南会津郡内9施設のスタッフは、概ね定員を満たしていますが、スタッフの不足によりサービスの一部を縮小している施設もあります。

問

スタッフの今後の見通しは。

町長

介護職員の高齢化や臨時職員で補充するなど介護サービスの維持や緊急時の対応に苦慮している施設もあります。

教育旅行広域連携の進め方は

町長＝受入れ体制を強化

問

教育旅行開始時と現在の登録農家数の状況は。

町長

平成20年度の登録数は68軒で平成30年度は192軒です。ただし、実稼働農家数は55軒です。

問

教育旅行受入れ数と受入れ生徒数の状況は。

町長

震災前の平成22年度は22校、延べ3704人、震災時の平成23年度は3校、延べ204人、平成30年度は16校、延べ3704人です。

問

広域連携の進め方は。

町長

受入れ体制の強化と事業の推進を目的に、受入れ窓口の一本化、キャラバンの合同実施、登録農家の合同研修会、ホームページや統一パンフレットの作成など、連携を図ります。



教育旅行受入れのようす



『まちの駅』を賑わいの拠点に

町長＝施設環境の整備を検討

問

まちなか整備事業による駅前から役場までの景観整備がメインと考えるが、この事業はいつから始めるのか。

町長

空き家の利活用によるまちなか拠点整備を行った後に、地元商店街や商工会、関係団体と協議、連携して進めます。

問

リバティ会津による観光誘客の取り組みを強化すべきでは。

町長

乗り入れから、間もなく3年を迎え、南会津魅力発信創出事業などによる団体の観光誘客を進めています。また、首都圏における個人向けの旅行商品の販売促進をはかっています。

今後も東武鉄道(株)などと連携し誘客事業を推進します。

問

「まちの駅」の拡張を具 thể化し、賑わいづくりの拠点にしては。

町長

平成27年に会津みなみ農業協同組合から拡張の要望書の提出があり

ましたが、施設増設の具体的利用計画が示されず現在に至っていません。

問

現在の指定管理者である、会津よつば農業協同組合からの利用計画書の提出があれば利用者が利用しやすい施設環境の整備を検討します。

町長

平成27年に会津みなみ農業協同組合から拡張の要望書の提出があり

高齢者単独居住の共同住宅建設を

町長＝安心して暮らせるよう検討

問

高齢化の進行に伴いきめ細やかな施策が必要では。

町長

必要との認識のもと、誰もが利用しやすい公共交通体系の抜本的見直しを検討しています。

問

高齢者単独居住の共同住宅の建設を展望しては。

町長

高齢者が安心して暮らせる共同生活型の高齢者住宅建設の検討を進めます。



地場産品展示販売施設
「まちの駅 南会津ふるさと物産館」(宮本地内)

また、地域と町がさらに連携した地域づくりが必要であり、町民の皆さんと高齢者の日常生活を支えていく共同の仕組みづくりに取り組めます。



英語力向上への支援を

教育長＝英語検定料を継続して支援

問

本町では、英語力を高めるための様々な取り組みが実施されています。2020年度からの新しい「学習指導要領」では、小学校高学年より英語が授業化されます。県の支援事業を活用した英語検定試験の補助が、今年度で終了しますが、英語力向上のため、今後も支援を継続する考えは。

教育長

次年度についても、町内の全中学生に対し、一人一回の検定料を継続して支援していきたいと考えています。

問

本町では、小学生への英語検定試験受講料の支援を行っていませんが、今後、支援する考えは。

教育長

小学校では、英語を好きになる子どもたちの育成を考えていますので、現時点では、テキスト的な検定の導入は考えていません。このことから、小学校の英語検定については、自主的な取り組みと考えていますので、検定料補助支援を実施する考えはありません。

問

児童・生徒の皆さんが英語を身に付ける上で家庭でのサポートが大切になってくると考えます。今後、家庭でできるサポートについて、学校からのアドバイスなどの取り組みが検討されていますか。

教育長

県教育委員会が作成した「ふくしまの家庭学習スタンダード」を全家庭に配布し、各家庭での学習の充実をお願いしています。英語の学習においても役立つ内容となっておりますので、特に英語に限ったアドバイスなどの取り組みは検討していません。



ブリティッシュヒルズ（天栄村内）での英語研修のようす



六斎市の復活で商業の活性化を

町長＝中心市街地関係者の取り組みを支援

問

かつて田島や伊南で行われていた定期市「※1六斎市」を田島地域の中心市街地で開催し、商業を活性化する考えは。

町長

田島地域内国道289号バイパスが開通し、中心市街地の交通量が減少した場合、歩行者優位の道路となることが予想されます。

今後、中心市街地で行われている現在の取り組みの拡大や、新たな取り組みを行う提案が関係者からあれば支援します。

用語

※1 六斎市
ろくさいいち

中世〜近世にかけて、月に6回開かれた定期市。

問

商業活性化には関係人口を増やす必要があります。東京オリンピックを1年後に控え、海外からの旅行者が増加すると期待されていますが、インバウンドの旅行者を増やすための方策は。

町長

昨年1年間に奥会津7町村へ訪れた外国人旅行者は2153人という報道がありました。隣接している日光市では平成29年に約10万人となっており、まだまだ少ない状況です。



日常的に運動する習慣化のきっかけづくりを目的に毎年5月最終水曜日行われているチャレンジデーのようす
(写真は平成30年5月30日)

健康長寿町をめざす方策は

町長＝「運動」「食」「社会参加」を柱に推進

問

県では、震災以降県民の健康指標が悪化していることから、県民の健康づくりの機運を一層高める方針です。町の健康増進の方針は。

町長

県が行なっている「ふくしま健民パスポート事業」のキーワードである「運動」「食」「社会参加」を健康増進の柱に、栄養指導、保健師、管理栄養士による個別指導、運動機能向上をめざした教室、公民館事業による生きがいづくりのための講座などを実施しています。

今後、東武沿線自治体や近隣自治体との広域連携による広報活動や、個人旅行者向けの体験メニューの造成、着地型ツアアの販売などに力を入れていきます。



県立南会津病院の充実を

町長＝医療スタッフの確保を強く要望

問

県立南会津病院の病床数が98床から78床になり、医療スタッフの減が危惧されます。

内科医師などの医療スタッフが減らないよう要望すべきでは。

町長

これまでも要望してきましたが、配置の明確な回答はありません。地域医療の中核病院ですので、今後も医療スタッフの安定確保を強く要望します。

会津田島祇園会館を存続し発信拠点に

町長＝祇園の町、魅力発信の取り組みは継続

問

会館は、個別施設計画で、施設修繕に多額の経費が必要のため、2021年度で廃止の方針が示されました。町を代表する祇園祭を紹介できる施設で、田島町内の観光拠点であり、今後は国道バイパス開通に伴い、より一層の交流人口拡大が見込まれる施設です。

また、郷土料理を日常的に紹介・提供する唯一の場で各種イベントにも参加し、町の

町長

PRも担っています。祇園の町の発信拠点として、会館は必要と考えますが町の考えは。

計画は、たたき台として示しました。会館は築23年が経過し、館内設備は故障の



今後のあり方が検討される祇園会館

ため動かず、修繕にも多額の費用が見込まれ、部品確保も困難です。

町内に4つの屋台格納庫が完成し、本物の屋台を年間を通して見ることができ会館の設置目的は達成され、2021年度で廃止との素案をまとめました。

なお、郷土料理の提供や各種イベント事業などの祇園の町の魅力を発信する取り組みは、継続すべきと考えています。

その場所はどこがふさわしいかを含め、関係団体との協議で方向性を出していきます。

その他の質問
・若者の雇用確保に向けて



「南会津町公共交通網形成計画」で 活 気 あ る 町 に

町長＝あらゆる機会でPR

問

2016年12月の一般質問

では「ワンコインでバスを利用し易い環境に」との質問で、町長は「ワンコインバス等も施策の一つと捉え、町民がより利用しやすい、効果的かつ効率的な公共交通の在り方を引き続き検討していく」と答弁しています。

町長

予想図であり、「南会津町公共交通網形成計画」という設計図の完成や、待望の完成年度も含め町民へはもちろん全国へアピールすれば定住先として本町を
選択する人も増え活気ある町になるのでは。

あらゆる機会において町外へもPRし、移住先を検討する際の重要な要素となり、活気ある町につながればと考えています。

問

駒止湿原への自由なアクセスができなくなったこの4年間、復旧工事が着々と進められ、この秋にはいよいよ完成し通行可能となります。

多くの湿原ファンの待ちに待った開通です。その安全祈願、開通式を実施し、合わせて秋の湿原山開きを実施しては。

町長

この工事は他の災害復旧工事と同じであり、旧工事に伴う安全祈願祭と開通式を実施する考えはありません。しかし、山開きは被災前と同程度の規模で実施する予定です。

町道東106号線の開通は町ホームページやマスメディアを通してPRしていきます。

駒止湿原への道路開通式と山開きを同時に

町長＝山開きは被災前と同じ規模で実施

用語

※「南会津町公共交通網形成計画（案）」

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）に基づく計画で、「地域にとって望ましい公共交通ネットワークの姿」を明らかにする「地域公共交通の基本計画」としての役割を果たすものです。

町はこの計画を実現するために、平成31年度中に具体的な運行体系などを示した「南会津間地域公共交通再編実施計画」を策定する予定です。



駒止湿原山開きのようす（写真は平成27年度5月開催時）

その他の質問

・旧「峠の茶屋」跡地を駒止湿原の駐車場に整備し路上駐車対策を



南会津高等学校の統合反対を明確に

町長＝反対を明確に存続を求める

問 これまでの南会津高等学校の頑張りを町はどう評価していますか。

町長 開校以来70年地域の最

高学府として多くの人材を輩出してきました。

社会や生徒のニーズに応じた進路指導や就職活動の充実もなされてきました。

部活動でも、全国大会で活躍するなど各分野で多くの優秀な人材を輩出してきた南会津高等学校の功績は、大変素晴らしいものだと評価しています。

問 西部地域から高等学校が無くなることは移住定住策に影響を及ぼすと考えますが。

町長 南会津高等学校が無くなることは、教育環境の悪化をまねき、移住定住を希望する方の減少が心配されます。

Iターンの方が二割以上をしめる南郷トマト産業への就農者が減少し、地域産業の衰退が危惧されます。

南会津高等学校の閉校は、人口減少や少子化への対応、地域産業の活性化を目指した移住定住施策に大きな影響があると考えます。

問 これ以上過疎化に拍車をかけないためにも、高校の統合に反対の意思表示を明確に示すべきでは。

町長 高等学校改

革監や県教育長との面談の中でも、反対の意思を示しています。

今後も反対の意思表示を明確にし、南会津高等学校の存続を県に働きかけていきます。



存続が望まれる県立南会津高等学校



今後の獣害対策は

町長＝各集落の実情を踏まえた対策を講じる

問

サル・シカ・イノシシが増えている。今後の対策は。

町長

昨年度から鳥獣対策専門員を配置し、野生動物の生息状況や行動に関する調査を行い、捕獲や集落ぐるみの対策に反映させてきました。

今後は、各集落の実情を踏まえた対策を講じるため、鳥獣の生息状況把握と被害防止、捕獲を効果的に組み合わせる取り組みをします。

食品安全対策の取り組みは

町長＝安全確保と風評被害払拭に努める

問

県は、日本一の食品安全県を目指し、農産物安全認証（GAP）の団体取得などの普及推進に力を入れているが、今後の取り組みは。

町長

農産物の安全確保は、

県立南会津病院の充実

町長＝大規模な修繕が必要な場合は要望

問

県立南会津病院の建物や設備の古いところがあり、修繕が必要と思うが、町の対応は。

町長

開設から24年が経過しておりますが、補修は計画的に実施されているとのことです。

所有権移転の未解決状況は

町長＝未解決の解消に引き続き努める

問

動産・不動産の所有権移転で、未解決件数とその理由は。

町長

未登記の件数は左記のとおりで、地権者の相続登記ができていない

ことや、抵当権の抹消ができていないことが主な原因です。

また、登記は町になっていないが、使用困難な物件もありますので、引き続き未解決の解消に努めます。

町が事業用地として買収した公共用地のうち未登記となっている件数（平成29年度末時点）

地域	筆数
田島地域	862筆
館岩地域	282筆
伊南地域	242筆
南郷地域	39筆
合計	1,425筆



交付額の半分は現金で

町長＝今までとおりに商品券とします

問

子育てスマイル事業で第1子に10万円、第2子に20万円、第3子に30万円の地元商品券を交付しているが、この事業の目的は。

町長

子育て世帯の家計の負担軽減と地域経済の活性化を目的としています。

問

交付額の半分を現金にしては。

町長

地元商店の活性化に寄与していることからこれまでどおりとします。

事業組織の変更を

町長＝平成31年度中に見直し

問

ヤマザクラ1万本の里づくり事業は、町の景観づくりに町民が主体的にかかわるとの基本理念から、担当課を変更し事業を進めるべきと考えるが。

町長

単にヤマザクラを植栽するだけでなく、まちづくり全体に関わる事業であり、各課横断的に連携する必要がありますことから平成31年度中に見直します。



第2回ヤマザクラ一万本の里づくり記念植樹祭のようす
(平成30年11月4日 南郷スキー場で開催)

保育所のバス遠足時に支援を

町長＝それぞれの取り組みを支援する

問

保育所の遠足でバスを利用する際、保護者負担軽減のための支援をすべきでは。

町長

現在の保育所、幼稚園

文化財の類焼損補償の推進を

教育長＝推進する考えはない

問

指定文化財保護のため1人で操作可能な消火栓の設置を。

教育長

ほとんどが町有物件であり防火設備を有していますが、どのような設備の整備が必要か調査研究します。

問

火災保険に類焼損補償の追加推進をすべきでは。

教育長

町有の指定文化財は総合賠償保障保険で対応しています。

一方、個人所有の登録有形文化財の火災保険加入は所有者の判断となり、類焼損補償の追加推進をすることはありません。

県立高等学校2校の存続を

町議会は、3月19日、3月定例会で議決した「南会津町における県立高等学校2校の存続を求める意見書」を、県知事と県教育委員会教育長に提出し、2校の存続を求めました。県が示した※1県立高等学校改革前実施計画に対し、町議会としての意見をまとめたものです。（詳細は7ページに記載）

今後は、県の動向に注視しながら、高等学校のあり方について、議論を重ねていきます。なお、県議会議長へ、同趣旨の要望書を提出しました。



県教育庁 大沼教育次長（中央）へ意見書を手渡しする五十嵐議長（右）と室井副議長（左）

用語

※1 県立高等学校改革前実施計画

少子化が進行する状況のなか、より良い教育環境を提供することによって、生徒一人一人の資質や能力を向上させることのできる魅力ある高等学校を推進するため、県教育委員会が、平成31年2月8日に、2019年度から2023年度までの前期計画として公表したものの。

本計画では、町内にある県立田島高等学校と県立南会津高等学校の2校を統合し、使用校舎は田島高等学校校舎としている。

統合後の教育活動の方向性として、南会津町に新設される特別支援学校との連携により、共生社会の仕組みを学ぶ教育システムの実現などが示されている。

全国町村議会議長会自治功労者受賞おめでとうございます

南会津町議会から2名の議員が、在職15年以上の功績が認められ、全国町村議会議長会会長より自治功労者表彰を受賞されました。

今後も町政進展のため、一層のご活躍を期待いたします。



高野 精一 議員



楠 正次 議員

下山区で開催

日 時	1月25日（金） 午後6時30分から
会 場	下山公民館
参 加 者	区長ほか8人
出席議員	貝田美郎・湯田良一・大桃英樹 山内 政・星 光久・星登志一
質 疑 事 項	①さゆり荘建設の財源は。 ②南郷スキーの今後について。 ③人口減少対策について。
要望・意見	①国道401号の要望活動の充実。 ②歩道の雪の排雪を早めにしてほしい。 ③駒止トンネル入口に照明設置を。

※質疑事項および要望・意見は一部のみ掲載しています。なお、いただいた意見や要望は所管委員会で調査し、結果を区長宛に回答します。

【議会報告会を開催しませんか】

行政区長や各種団体などの代表者を通して、議会議員または議会事務局へご連絡ください。その際に、開催希望日などがあれば、併せてお知らせください。

開催時期は、定例会終了後、概ね1カ月半以内で、申込受付は先着順で3団体までとなります。

任期最後の議会が閉会



平成31年3月15日の本会議全日程終了後

南会津町議会任期最後の定例会が閉会しました。
議会広報委員会は、議会中継のインターネット配信や会議録の町ホームページ掲載など、開かれた議会のため取り組んできました。
また、定例会ごとに編集しました議会だよりは、読ませる広報から見せる広報に心がけ、皆様に親しまれる広報誌づくりを目標に発行してきました。
議会広報委員も本号の発行をもって任期満了となります。
これまでのご愛読に感謝申し上げます。
議会広報委員長 森 秀一

お悔み申し上げます

現職の阿久津梅夫議員（井桁）が、2月16日に内臓疾患のため、会津若松市内の病院で亡くなりました。

阿久津議員は、平成11年に館岩村議会議員に初当選し、町村合併後は南会津町議会議員に就任し、産業建設委員、南会津地方広域市町村圏組合議会議員、南会津地方環境衛生組合議会議員を務め、町民福祉の向上と産業振興の発展に尽力されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

南会津町へU・Iターンしてきた方へ、移住されたきっかけや町の魅力をインタビューしました。



齋藤光子さん (71) 齋藤長一さん (72)

茨城県水戸市から湯ノ花地区にIターンし、
”ベルガーデン(ハーブ庭園とカフェ)”を営んでいます。

Q 南会津町に来られるまではどこからお住まいでしたか？

齋藤さん 茨城県水戸市です。

Q 移住される前のお仕事は何をされていましたか？

齋藤さん 銀行に務めた後、経営コン

サルタントの仕事をしていました。

Q 南会津町に住みたいと思ったきっかけを教えてください。

齋藤さん 湯ノ花地区は、

妻の父の故郷で、何度か訪れているうちに、自然が豊かで、人々が温かで人情的なところに惹かれ、いつかは住

んでみたいと考えていました。

定年後は、都会を離れて暮らしたいと思っていたので、4年間ぐらいは水戸と湯ノ花を往復し、移住の準備をしていました。

Q 今のお店を始めようとしたきっかけを教えてください。

齋藤さん 湯ノ花地区の

方々と話をしていた中で、「お茶を楽しめるところがない」という話がありました。村の人の役に立ちたいという思いと、地域の活性化に繋がればという思いで始めました。ハーブ庭園は、訪れた方の癒しの場になればと思います、この地域に合ったハーブやバラを植えました。

Q 現在、困っていることはありますか？

齋藤さん 困っているこ

とはありません。不便も良いと感じています。都会と同じことをやっていてはつまらないと思います。

Q 今後の目標は？

齋藤さん 地域の皆さん

が元気になるお手伝いをしたいと思っています。先日、村の老人クラブで薬草栽培で地域の活性化について講演をさせていただき、皆さんに興味を持っていただきました。町としても支援していただけたらと感じました。個人としても、中小企業診断士の経験を活かして支援できたらと考えています。

議会を傍聴してみませんか

- 議会広報委員会
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 森 秀一 |
| 副委員長 | 丸山 陽子 |
| 委員 | 貝田 美郎 |
| | 渡部 訓正 |
| | 室井 英雄 |
| | 室井 嘉吉 |

議会を傍聴する手続きは簡単です。
本庁3階の議場傍聴席入り口で住所と氏名を書くだけです。
傍聴席では、提出された議案も閲覧できます。

平成31年第2回定例会
6月7日(金)開会予定